

## 2016年春季講演会「若手交流会」実施報告



若手支援・男女共同参画委員会（YEPS 委員会）

杉山歩\*1, 柏谷公希\*2, 伊藤浩子\*3,  
野原慎太郎\*4, 吉岡真弓\*5, 安元純\*6, 中屋眞司\*7

平成 28 年 5 月 14 日（土）東京農工大学にて開催された春季講演会において、12:10~12:50 の時間帯に若手交流会を実施した。今回の若手交流会では、①他学会の若手中心とするグループの活動状況や若手支援制度の紹介、②若手の研究者や技術者、学生が当学会に期待することの意見交換、③当学会の「若手の会」に関するディスカッションといった内容で行われた。

他学会の若手中心とする活動としては、1) 日本地熱学会、2) 農業農村工学会、3) 日本地球化学会、4) 資源・素材学会について YEPS 委員の柏谷先生（京都大学）から紹介があり、各学会、学術大会時にランチョンセミナーを開催する、サマースクールの実施、懇親会、若手シンポジウム、基礎的内容の学習を目的とした合宿、海外・国内研修等が紹介された。また農業農村工学会においては新たな取り組みとして学生だけのセッションの開催を本年度より開始するとのことであった。加えて、国際学会の旅費支援等が検討されているとの紹介もあった。

昨年の秋季大会において地下水学会で行ったアンケートから、参加者が学会に期待することで多かった意見は、若手セミナーの実施であり、若手の会の立ち上げが検討された。今回参加していた会場の参加者の大半も若手会の立ち上げに賛成であった。現時点では若手会発足後、具体的な活動内容について検討することとなるが、学生が中心となって運営を行い、YEPS 委員が窓口となって学会との連携を図っていく方針が良いのではないかと考えられる。

参加した会場の学生からの意見としては、地下水学会における学生会員数について質問があった。現時点では 35 歳以下の若手会員数は 90 名弱である。また、学生を中心とした活動とする場合、大会ごとに委員を〇〇年度の委員のように変えていくというアイデアが出された。短任期で交代する学生委員に加え、若手の社会人等を加えることで若手会を安定的に継続させることができるのではないかと考えられる。

秋季講演会の若手セミナー成功のためにも、今回新たに発足する若手の会へ学生、社会人問わず積極的な参加をお待ちしております。



写真 若手交流会の様子

\*1(株)アサノ大成基礎エンジニアリング、 \*2 京都大学、 \*3 地域地盤環境研究所、  
\*4 電力中央研究所、 \*5 産業技術総合研究所、 \*6 琉球大学、 \*7 信州大学